

# 絵画表現に消極的な子どもの描画発達を促進する新しい援助方法の構築

(中間報告)

ノートルダム清心女子大学 小田 久美子

## Construction of New Assistance that Promotes Development of Children's Painting Expression.

Notre Dame Seishin University ODA, Kumiko

### 要約

多くの子どもは、輪郭線を利用した造形遊びとしての塗り絵が好きであり、親しみのある遊びの1つであると言える。子ども達が、絵画表現を始める手がかりとして塗り絵を使用することで起こる、子どもの絵画表現の変容を視覚的に実証していく。どの年齢の子どもにどのように与えると効果的に何かを引き出せるのか事例研究を通して明らかにしていきたい。

【キー・ワード】 幼児, 絵画表現, 描画発達

### Abstract

It can be said that the coloring paper as the molding play is one of the favorite play for a lot of children. In this study, Transformation in the children's expressions are visually proven by using the coloring paper as the clue when children express the painting.

I want to clarify it through the case study.

【Key words】 young Children , picture Expression , drawing development

### 問題と目的

絵画を含む豊かな造形活動は、子ども達の人間性を育むだけでなく創造力を養い、創造力の育成が認知能力の発達を促し、認知能力が思考を促進すると言われている。ところが、調査の結果8割以上の保育者は、絵画表現に積極的ではない子どもがクラスにあり、年齢が上がるほど増加すると回答している(小田・2005)。そのことから、描くことへの不安から引き起こされる絵画表現への躓きを乗り越えるために、子ども達は保育者の適切な働きかけを必要としていると言える。絵画指導において日々暗中模索している保育現場に、新しい手だてを提示することが出来れば、白紙に絵を描くことに躊躇をもっていた子ども達を一人でも多く救うことが出来ると考える。そのため子どもの生活に実

際に浸透して親しみのある塗り絵遊びに着目した。子どもの造形的発達に対する塗り絵の影響が実証され、どのような子どもにどのような塗り絵を与えれば最も造形的に有意義であるかが明らかになると、子どもに効果的な創造教育を行うことが出来る。それにより人間性を育み子どもの発達を促し、子どもの豊かな造形活動を可能にすると考え。本研究は、3歳児から6歳児までの幼児を対象として、異なった輪郭線のある画用紙を用いた調査し、効果の年齢別比較と検証を行うことを目的とする。

## 子どもの絵画表現の「豊かさ」

国の定めた保育の指針として、『幼稚園教育要領』と『保育所保育指針』がある。この中では、子どもの絵画表現がどのようなものであることを目指しているのか。『幼稚園教育要領』及び『保育所保育指針』のそれぞれについて見ていくことにする。

### (1) 『幼稚園教育要領』(2008)

『幼稚園教育要領』の中で「豊か」という言葉は19回用いられている。

5領域のうち、絵画表現が直接属するのは「表現」である。この領域は、「感じたことや考えたことを自分なりに表現することを通して、豊かな感性や表現する力を養い、創造性を豊かにする」とあり、感性や創造性を「豊か」にすることを目標としている。さらに、「ねらい」として「生活の中でイメージを豊かにし、様々な表現を楽しむ」と示されていて具体的に、イメージを「豊か」にすることが求められている。「内容」では、「(4)感じたこと、考えたことなどを音や動きなどで表現したり、自由にかいたり、つくったりする。(7)かいたり、つくったりすることを楽しみ、遊びに使ったり、飾ったりする」と記されている。「豊か」にするための条件として、具体的には「自由」であり「楽しい」活動であることが望まれている。

### (2) 『保育所保育指針』(2008)

『保育所保育指針』の中では、23回「豊か」という言葉の表現が用いられている。『保育所保育指針』では、「表現しようと思うもののイメージが豊かに湧くような雰囲気をつくり、様々な材料や用具を適切に使えるようにしながら、表現する喜びを味わえるように配慮する」とある。表現活動がイメージを「豊か」にし「喜び」を味わえる活動であるよう配慮することが記されている。

このように、国は子どもの表現活動が「豊か」であることを目標としている。そこで、この「豊か」とはどのようなことなのかを具体的に明らかにしなければならない。的場勇(1983)は、造形遊びのねらいとして①造形の楽しさを味わわせる②のびのびと表現させる③豊かな表現をさせる④いろいろな用具や材料を使う経験をさせる、としている。そして具体的に、「空に表情があり、島の形に変化があり、ごんべえと島のつながりに工夫の跡が見られ、ごんべえのからだに動きが感じられるとしたら、豊かな表現と言えると思います」「なぜかと言いますと、そういう表現はそうでない表現とくらべてより多くの内容を語りかけてくれるからです」と記述して、工夫が感じられて動きのある絵が「豊か」な絵であるとしている。

また、幼児自体が、未分化で発達を続けている存在であることから考えると、「豊か」とあるという評価が「成果」や「成績」の評価ではなく人間形成の“プロセス”がどれだけ進んでいるかであると言える。したがって、社会性や自主性の状態、積極的に取り組んでいるかそうでないかを「豊

か」である判断に組み入れなければならないであろう。「豊か」という言葉を国語辞典で調べると「満ち足りた状態であること。のびのびとしたさま」とある。子どもが伸び伸びと自由に表現することが出来るという状況を表していると考えられる。花篤實(1983)は、良い絵の条件として「幼児の心がこもった絵、表情が出ている絵、内容のある絵、豊かな絵」としている。それは、技術的なものではなく、積極的に楽しく取り組むことの出来る活動であることを前提にしていると言えるであろう。本研究では、そのような子どもの表現活動を、「豊か」とであると定義して、研究を進める。

## 方 法

**対象児** 岡山市内幼稚園 3歳～6歳児 240名（年少児 60名，年中児 90名，年長児 90名）

**手続き** 年齢別に、数種類の輪郭のある画用紙を用いた造形活動と観察を実施する。画用紙の種類及び年齢による子どもの絵画表現の発達的变化を比較検討するために、次のような分析の視点と分類項目を設定している。

- a.年齢 b.どの画用紙を選択したか c.色数 d.着色面積
- e.表現内容のカテゴリー分析（色彩・線と形・構図・テーマ）
  - ・固有色を使っている・固有色を使っていない
  - ・物の形を描こうとしている・無造作な描画か塗色だけである
  - ・天地の関係がわかる・個々をばらばらに描いている
  - ・輪郭を利用している・輪郭を利用して創作の絵を加えている・何を描いているかわからない

## 考察の視座と方向性

美術教育者である V. Lowenfeld(1947)や F.Cizek によって、塗り絵は子どもの絵画表現に悪影響を与えるものであると位置づけられている。だがその言及は、ごくわずかな実験によって少し触れられている程度であるに過ぎなく、E.W.Eisner(1972)が「独裁的でさえある洞察的結論である」と意見していることや、実証研究が日本で行われていないことから、その実践的効果と限界について改めて研究する必要があると言える。そこで今までの研究において、塗り絵と子どもの描画発達との関連性を考察してきた。その結果、輪郭線の提示が、特に絵画表現を苦手としている子どもへの援助としての効果が期待できることを発見した。本研究は、現在まで特に教育的な価値が与えられていなかった塗り絵の、子どもの発達段階に沿った適切な具体的使用法を検討するための調査である。塗り絵を、色彩を用いた遊びとして取り入れることは、幼児教育・美術教育において未開拓の領域であり、幼児教育者の新しい指導・援助の方法として大きな意味を持ち得ると考える。

## 引用文献

Eisner, E.W. (1972). *Educating Artistic Vision*, Macmillan Publishing Company Inc, 仲瀬律久ほ

- か/訳. 美術教育と子どもの発達, 黎明書房, 90.
- 花篤實 (1983). 幼児画の本 みずえのぐによる技法・実践・理論指導, サクラクレパス出版部, 100.
- Lowenfeld, V. (1947). *Creative and Mental Growth*, The Macmillan Company, 18. 竹内清ほか/訳, 美術による人間形成, 黎明書房, 46.
- 的場勇 (1983). 造形遊び 子どものあそびシリーズ①, 中央法規出版, 25-32.
- 三木安正/編・保育内容研究会 (1980). 幼児教育の評価 その観点と基準 フレーベル館, 3. 文部科学省 (2008). 幼稚園教育要領, 2.
- 厚生労働省 (2008). 保育所保育指針, 10.
- 西尾実ほか (1984). 国語辞典, 岩波書店, 331.
- 小田久美子・高橋敏之 (2005). 絵本の読み聞かせと輪郭線の活用が幼児の絵画表現に与える効果 乳幼児教育学研究, 14, 9-19.